



山武地域の生育状況

7月は高温・多照の気象となり、稲の生育は例年より早まっています。管内で行った調査では、早生品種・晩生品種ともに出穂が早まっており、今後も高温が予想されることから、収穫時期が想定より早まること予想されます。刈り取りが遅れると品質の低下を招きますので、ほ場の状態を確認し、適期収穫ができるようにしましょう。

現在、管内では7月の高温により紋枯病の発生が多く見られます。また、斑点米カメムシ類が多く発生していますので、多発生しているほ場では農薬使用基準の収穫前日数を確認し、適宜防除を実施しましょう。

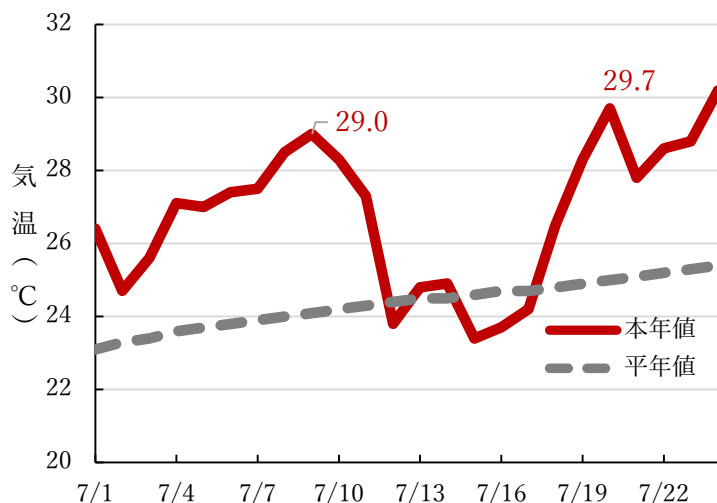


図1 日平均気温の推移(アメダス、横芝光)

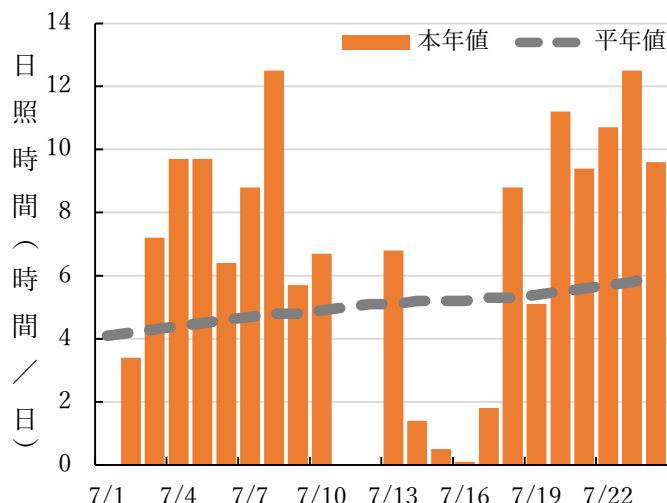


図2 日照時間の推移(アメダス、横芝光)

表1 収穫日予測(7月25日現在)*1

移植日	品種			
	ふさおとめ	ふさこがね	コシヒカリ	粒すけ
4/20	8/9	8/14	8/22	8/21
5/1	8/15	8/21	8/29	8/29
5/15	8/23	8/29	9/6	9/6

*1 予測日は水稻生育予測システム「でるた TM」により、アメダス横芝光のデータを用いて予測しています。移植時の苗の条件、ほ場の条件、予測を行った日以降の気象条件により誤差が出る場合があります。

*2 詳細は千葉県病害虫防除課のホームページを御参照ください。

表2 病害虫発生予報(7月17日時点)*2

病害名	予想発生量 (平年比較)
いもち病 (穂いもち)	並
紋枯病	やや多
ごま葉枯病	並
大型斑点米 カメムシ類	多
カスミ カメムシ類	多

イネ WCS(ホールクロップサイレージ)について

○イネ WCS とは

耕畜連携の取組として、国産の飼料作物の活用が求められています。イネ WCS は飼料作物のひとつであり、粗飼料としてイネの茎葉を家畜に与えます。そのため、茎葉の生育が旺盛で、籾が少ない WCS 専用品種による生産が推奨されています。

●生産方法

基本的な栽培管理は通常の水稲と同様です。大きく異なるところは、収穫時期と収穫機です。

WCS イネの収穫時期は、稲体の水分率が65%を下回ったときからです。これは、高品質な餌として発酵するための条件です。主な専用収穫機は、①コンバイン型②ロールバールタイプがあります。どちらも収穫・調製作業は、①収穫②ラッピング③運搬・出荷の順です。

●経営上の利点

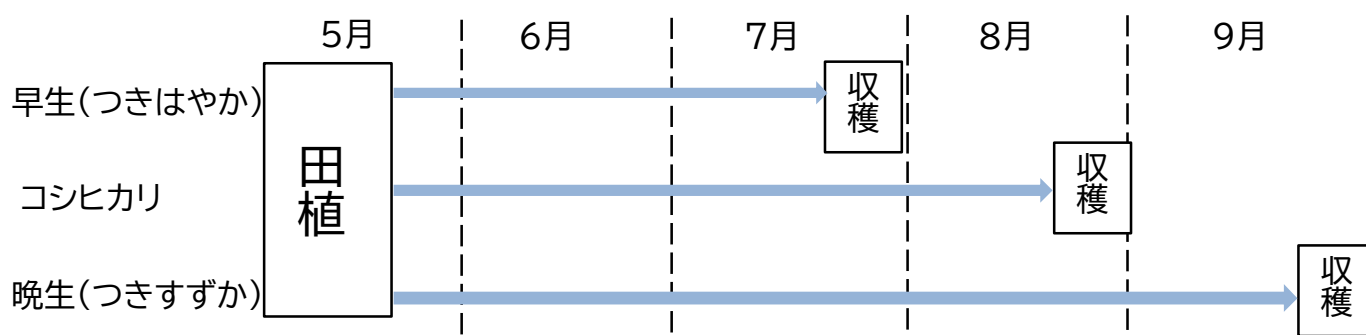
籾を収穫しないことから、①穂肥②乾燥・調製の作業 を省略することができます。また、斑点米カメムシの防除については、周囲で WCS 以外の水稲を栽培している場合は斑点米カメムシの発生源とならないよう、収穫前日数に注意して適宜防除を実施してください。

また、WCS イネの専用品種の早晩生によって、主食用米や飼料用米等との作業分散を図ることができます。

表〇 省略できる作業の労働時間について

作業内容	労働時間(時/10a)*	備考
穂肥	0.32	一発肥料を使用せずに比較的安価な資材に代替可能
カメムシ防除	0.32	近くに WCS 以外の水稲ほ場がない場合に限る
乾燥調製	0.94	籾の乾燥・調製を行わないため
合計	1.58	

※ 千葉県技術資料 稲作標準技術体系(平成26年3月発行)より。



図〇 WCS イネとコシヒカリによる収穫時期のイメージ

●取り組む際の注意点

・収穫・調製機械(コンバイン、ラッピングマシーン、運搬車等)の導入及び機械や収穫物の保管場所の確保が必須です。

・収穫作業は収穫物に泥が付着しないように、ほ場が乾いているときに行います。また、収穫、ラッピング、運搬を行うため、労力が多く4人ほど必要になります。なお、1日に収穫できる目安は 1.5ha 程度です。

生育調査結果(出穂後 10 日時点)

*本年値の()内は平年比(過去 10 年)を示しています。

*葉色は、カラスケール(CS)による数値を表しています。(調査は葉色計(SPAD)を用いています。)

コシヒカリ

場所・移植日	年次	幼穂 形成期	出穂期	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	葉色(CS*値)
東金市 4/28 移植	本年	6/23 (±0日)	7/16 (早5日)	86.4 (96%)	22.3 (113%)	398.0 (107%)	4.3 (98%)
	前年	6/26	7/18	85.6	19.8	342.0	4.0

ふさこがね

場所・移植日	年次	幼穂 形成期	出穂期	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	葉色(CS*値)
山武市 5/3移植	本年	6/25 (遅3日)	7/13 (早4日)	81.2 (118%)	19.7 (105%)	418.2 (89%)	5.0 (106%)
	前年	6/26	7/17	76.9	20.7	352.7	4.9

ふさおとめ

場所・移植日	年次	幼穂 形成期	出穂期	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	葉色(CS*値)
山武市 4/30移植	本年	6/17 (早2日)	7/10 (早5日)	79.2 (103%)	19.9 (107%)	470 (99%)	4.6 (97%)
	前年	6/21	7/10	73	19.1	335	4.6

アキヒカリ

場所・移植日	年次	幼穂 形成期	出穂期	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	葉色(CS*値)
山武市 4/25移植	本年	6/14 (早8日)	7/4 (早8日)	77.8 (99%)	17.7 (100%)	454 (103%)	5.2 (103%)
	前年	6/21	7/12	76.4	18.3	442	4.7

夢あおば

場所・移植日	年次	幼穂 形成期	出穂期	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	葉色(CS*値)
山武市 5/18移植	本年	7/6 (遅8日)	7/29 (予想)	— (未出穂)	— (未出穂)	— (未出穂)	— (未出穂)
	前年	7/5	7/27	78.7	21	305	4.7

農林総合研究センター 成東育成地 による生育調査結果

*調査は全て山武市で行われています。 *本年値の()内は平年値(過去10年)との差を示しています。

*出穂時の葉色は、カラースケールによる数値を表しています。(調査は葉色計(SPAD)を用いています。)

品種・移植日	年次	幼穂形成期	出穂期	出穂期時の葉色	成熟期予測
コシヒカリ 4/25移植	本年	6/22 (早1日)	7/9 (早5日)	4.5 (105%)	8/20 (早1日)
	前年	6/23	7/10	4.4	8/22
ふさこがね 4/25移植	本年	6/16 (早1日)	7/9 (早3日)	4.9 (102%)	8/13 (±0日)
	前年	6/20	7/12	5.2	8/16
ふさおとめ 4/25移植	本年	6/14 (早1日)	7/6 (早4日)	4.6 (100%)	8/8 (早1日)
	前年	6/19	7/9	5.2	8/11
粒すけ 4/25移植	本年	6/22 (早1日)	7/14 (早4日)	4.5 (99%)	8/20 (早1日)
	前年	6/23	7/15	4.6	8/21
粒すけ 5/15移植	本年	7/2	7/25	4.4	8/31
	前年	7/6	7/26	4.4	9/1